



第3号 2019.7.25

上川管内公立小中学校事務職員協議会

発行者 広報担当 島尻(鷹栖小)



第131回管内研（中央大会）が盛会に終わりました！

研修テーマ：子どもたちの生活の場を意識した「教育環境整備」

～教育環境整備の「ものの整備・かね的整備」に重点をおきながら～

6月27日（木）・28日（金）の2日間、当麻町の「まとまーる」を会場に第131回上川管内公立小中学校事務研究大会が開催されました。

1日目の講演では、『東電原発事故から9年目、避難者の今』と題し、カタルワ（311からまなぶ会）代表鈴木哉美さんから、福島から自主避難した際の状況についてお話をいただきました。

その後、研修部から、今年度の研究推進・検討課題について提起があり、具体的な方向性が示されました。

2日目の個人レポートは「自分はこんな学校事務職員になりたい～児童生徒のためにやりたいことは何か～」をテーマに、今村さん（扇山小）、金谷さん（愛別小）、宇佐美さん（愛別中）、笹木さん（智恵文小）、熊谷さん（美深小）の5名の皆さんにお話をいただきました。皆様のご協力に感謝いたします。

今回の研究大会の開催にあたり、中央ブロック現地実行委員の皆様をはじめ、ご協力いただいた皆様に、あらためて心より感謝申し上げます。

～分散会に参加して～

各分散会の参加者から、感想をお寄せいただきましたので、ご紹介いたします。



《第1分散会》

個人レポートの感想や質問を交流したのち、各市町村の学校間連携推進計画をもとに保護者負担の現状について話し合いました。まず「一緒に遊ぶ事務職員ってどうなんだろう？」という話題から、子どもとの関係作りもひと的整備の一環であり、学校に勤める一職員として、隠れたカリキュラムも意識しつつ子どもと接していきたいと改めて思いました。また保護者負担について他市町の現状を交流していく中で、自分の町の現状の把握が不十分なことに気がつきました。分散会の中では現状を踏まえ、これからどうやって公費化していこうかと具体的な方策についても話題が及びました。現状把握や教育委員会との連携の推進が追いついていないと、目標の実現がより難しく感じてしまいますが、まずは難しく考えるのをやめてできることから少しずつ保護者負担を減らせるよう少しずつ取り組んでいきたいと思えます。



《第2分散会》

新採用者からベテランの方まで幅広く参加されていました。討議の4つのテーマの中で、私は特に個人レポートについての討議が印象に残りました。個人レポートのテーマから派生子どもアンケートや保護者の方への意見集約、初任校での仕事の仕方、予算や先生方への周知方法について話し合ったからです。また、その中で私自身が悩んでいたことを先輩方に直接質問できたことや、他の事務職員の方の考えを聞くことができたことも良かったです。私は、現在初任1校目ですが、未だに自分が学校の役に立っているか自信がありません。しかし、上記の交流を通し今よりも積極的に仕事を行い、少しでも学校の役に立てるように頑張りたいと思いました。他にも各市町村の保護者負担の現状を聞くことも大変勉強になりました。二日間どうもありがとうございました。



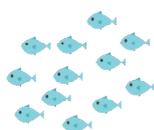
《第3分散会》

午前中は自己紹介と「新採用時代を振り返って」を1人ずつ話し、その後、個人レポート発表の感想を交流しました。個人レポート発表については、素晴らしいレポートだったという声が多くありました。午後からは、市町村学校間連携推進計画と、各市町村の保護者負担の現状について交流しました。学校諸費、スポーツ振興センターの掛金、就学援助についての交流をし、各市町村の様子をよく知ることができました。また、第3分散会に事務加配を受けている学校が4校あり、ベテラン事務職員の方々から、加配の業務分担などについてアドバイスをいただき、大変勉強になりました。全員が発言し、活発な意見交流がなされた、大変有意義な分散会でした。今回学んだことを、今後の業務に活かしていきたいと思います。



《第4分散会》

前半は、個人レポートのテーマに沿い、自分が感じている学校事務職員、自分が目指す事務職員像について、交流しました。事務としてどこまで子ども達と関わるべきか、色々な意見が出され活発に交流することができました。後半は、学校間連携推進計画について交流しました。特に今年度から新たに設けられた保護者負担の現状について、各市町村の現状を知ることができ、今後の保護者負担軽減に生かしていきたいと思いました。普段、直接交流する機会の少ない他ブロックの方と交流することができ、様々な意見交流ができ、各市町村の保護者負担の現状を聞く大変貴重な場となりました。今後は、ここで交流した内容を生かし、「教育環境整備」に努めていきたいと思います。





2日間にわたり、ありがとうございました！

閉会式にて、第133回上川管内公立小中学校事務研究大会担当の川越富良野ブロック長よりご挨拶いただきました。次年度も皆様のご参加をお待ちしております。

上川管内公立小中学校事務研

令和元年度 上川教育研修センター講座「学校事務実務」のお知らせ!

8月5日(月)に上川教育研修センターで開催される『学校事務実務』につきまして、22日に上事協 web でお知らせしておりますが、改めてお知らせさせていただきます。

【タイムスケジュール】

日 程	8:45	9:15	9:45	10:05	11:05	
	運営委員打合せ	受付	開校式	提言と研究協議① 「中央研修還流報告」 剣淵中学校 盛多 事務職員	提言と研究協議② 「全道事務研発表レポート ～世代交代期における学校事務研修のあり方の考察」 永山中学校 木村 事務職員	
昼 食	12:00	12:45	13:45	14:30	16:25	閉 講 式
		説明と演習 「給与・手当について」 教職員事務課 佐藤 主査 (上川中・高担当)	提言と研究協議③ 「教育費の保護者負担軽減のこれまでとこれから」 青雲小学校 天野 事務職員	グループワーク 「日常の学校事務に関する悩みについて」(仮題) 〔A分散会〕 司会：東光中学校 小川運営委員 〔B分散会〕 司会：啓北中学校 古小高運営委員 〔C分散会〕 司会：土別中学校 丸田運営委員 鳥沼小学校 塚本運営委員		

*会場：上川教育研修センター *上事協運営委員：鳥沼小 塚本、土別中 丸田(何かあればお問い合わせを)

【主な概要】

○提言と研究協議①

～盛多さんが参加された「中央研修」の還流報告をしていただきます。

○提言と研究協議②

～今年の全道研で旭川市支部が発表するレポートです。全道研では、上川支部のレポート発表と同じ分科会となります。全道研当日の議論を活発にするため、ぜひご参加ください。

○説明と演習

～今回は、住居手当・単身赴任手当・へき地手当を中心とした内容となるようです。

○提言と研究協議③

～天野さんより保護者負担軽減についての取り組みと展望についての発表です。

○グループワーク

～3つの分散会に分かれて「日常の学校事務に関して悩みについて」(仮題)について交流します。悩みを1つでも解消できたり、解消のヒントとなるような活発な議論を期待しています。

—お知らせ—

1 研修センターの駐車場は台数が限られており、混雑が予想されます。余裕を持ってお越しください。

2 「受講通知書」は22日(月)に届いているかと思いますが、まだ受講することは可能です。受講希望の方は研修センター講座の受講申込書を直接研修センターへFAXしてください。

◇上川管内と旭川市の事務職員が交流することができる数少ない機会です。皆さんご参加ください!◇